

## 献呈のことば

木村常信先生は、本年三月末日をもって鹿児島大学を退職されました。ここにわれわれは、先生ご在任中の労をねぎらい、またその間に先生からうけたご指導に感謝申しあげるしとして、謹んで退官記念論文集を先生に献呈いたします。

木村先生は、鹿児島大学文学部の改組にともなう法学部の新設発足のとき、昭和四十年四月に、法学部法学科の教授として京都大学から赴任されました。本年三月退官されるまで二ケ年の間ではありましたが、民法の講義のほかに法哲学の講義をも担当されながら、発足早々の未完成の状態にあつた新学部の充実に努められたのであり、この先生のご尽力とご寄与によって、鹿児島大学法文学部はその健全な発展への礎を築いてきました。

木村先生のすぐれた学問的ご業績については、巻末の略歴および著書論文の目録からうかがい知ることができますが、先生の高潔な人格と、冷静の中にやむことなき真理探究の熱情を秘められた学者的態度は、よく後進のわれわれに範を垂れ、新学部の学風を作りあげていく上に大きな貢献をされました。われわれも先生のあとを継いで、今後ますます研鑽して立派な学問の府としての学部を築きあげたいと思います。

最後に、先生が今後ますます健康に留意され、ご研究をなお一層発展させられることをお願い申しあげて献呈のことばといたします。